

【県立高校学力向上基盤形成事業】ジグソー法を用いた協調学習授業 授業案

学校名： 埼玉県立南稜高校

授業者： 奥間 美穂

教材作成者： 奥間 美穂

授業日時	12月2日	教科名	生物Ⅱ
学年	3年	生徒数	26人
単元(題材)	同化	本時/全時数	2/5

授業のねらい
「葉はなぜ緑色をしているのか」という問いを通じて、身近にある当たり前のことの理由を考えられるようになる。
授業の柱となる課題(ジグソー活動の課題)
葉はなぜ緑色をしているのか。
課題に対して出してほしい答え(課題について子どもたちに語れてほしいストーリー)
光合成に使わない緑色の波長を跳ね返しているため、私たちの目には葉が緑色に見える。
各エキスパート(答えを出すための部品)
<各エキスパートの資料内容・課題・つかんでほしいキーワードなどを書いてください>
①色はどうして見えるのか ②葉緑体と光吸収スペクトル ③エンゲルマンの実験
ジグソー活動でわかったことを踏まえて取り組ませたい発展的な課題(なしでも可)
グループ編成
エキスパート 3人×8班 2人×1班 ジグソー 3人×6班 4人×2班

学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
5分	《導入》	本時の流れの説明をする。
15分	《エキスパート》 ①色はどうしてみえるのか 色が見えるとはどういうことなのかが説明できる。 ②葉緑体と光吸収スペクトル 葉緑体の光合成色素であるクロロフィルがどの波長の光を利用しているのかを説明できる。 ③エンゲルマンの実験 植物は何色の光を用いて光合成を行っているのかを説明できる。	机間巡視を行い、話し合いが進まない班に声かけをする。
20分	《ジグソー》 ・各班で話し合ってきたことを発表しあう。 ・④葉はなぜ緑色をしているのか。	時間の目安のアナウンスを行う。
10分	《クロストーク》 発表しあう。他の班の人の発表をきいてメモをする。	

備考（クラスの様子、事前に予想される指導上の課題など）
講座内の人間関係は良いと思われる。しかし、授業中に騒がしいこともあり、集中力に欠ける。